

「多様性のある医局」

若手女性外科医



私のターニングポイントは、初期研修2年目の4月、急性虫垂炎の初執刀をさせていただいた時です。4名もの先輩外科医がご指導くださいました。手術を終え患者さんが無事退院されたことに、医師としての自分の道を明示されたと感じました。執刀後に先輩方と飲んだビールが美味しかったことも忘れられません。

しかしながら、外科医として一生同じ速度で働き続けることに不安も感じました。そこで、就職先を選ぶのにあたり「さまざまなライフステージにおける働き方」を重視しました。私たちの医局には、男女問わずさまざまな立場、価値観で働いている人がたくさんいます。いろんな医局員と話していただき、多様性のある私たちの医局をみていただきたいと思います。